

8. 11 祝 山の日制定

朝日庄内の風

第 19 号
平成28年 3月発行

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404

山形県鶴岡市下名川字落合 3

TEL : 0235-58-1730

FAX : 0235-58-1731

E-mail:t_syounai_f@rinya.maff.go.jp

Home Page:http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/

朝日自然塾連絡協議会

平成27年12月11日（金）、毎年度開催している朝日自然塾連絡協議会を、協定締結団体9団体の代表者及び東北森林管理局、庄内・山形・置賜森林管理署、当センター計19名で、①平成27年度実施の5つのプログラムにおける評価及び反省点並びに改善点、②平成28年度実施予定プログラムの検討、等を議題に協議、意見交換を行いました。



活発な意見交換が行われました

平成27年度実施プログラムについては、公募範囲を、「山形県内のみならず、隣接県（新潟・宮城県等）にもPRした方がよいもの」、「朝日山地周辺の地域と緊密に連携するもの」等の各プログラム内容に即した方法を選択し、朝日山地の魅力を発信すべき等の意見が出されました。

また、残念ながら実行できなかったプログラムに関しては、「地域の学校行事等の予定を極力把握し、他行事との重複を避けること」、「プログラムの内容を更に魅力的なものにするための検討が必要」等の意見が出され、平成28年度に向けた方向性が協議されました。



ホワイトボードに問題点等を列記



白壁洋子氏からの講話

昼食後、やまがた公益の森づくり支援センターの白壁洋子氏による「子どもたちと森をつなげるわくわく自然体験」と題した特別講話を行い、子ども達の森林における行動や感じ方等、豊富な経験談から、「子ども達は、森林とふれあう機会が少ないのが現状だが、森林内で遭遇する多様な出来事を経験することにより、判断力を養う等の素晴らしい効果が期待される」旨の講演をいただき、大変参考になりました。

更に協定団体である山形県溪流釣り協議会の鈴木会長が持参いただいた見事なイワナの剥製（体長約70cm）もお披露目され、あらためて朝日山地の豊かな生態系を実感しました。

最後に山形県山岳連盟の稲泉会長からは、「平成28年8月11日、山の日制定記念について、各方面へ幅広くPRしていきましょう」との意見が出され、当センターも機会ある毎にPRしていきます。

朝日自然塾実施にあたっては、各団体の皆さま及び関係する森林管理署の協力が不可欠であり、平成28年度においても、緊密に連携しながら実施することはもとより、プログラム内容の改善、新たな連携組織の模索を行いながら、自然や森林の魅力を体験していただく取組みを進めて参ります。



鈴木会長が見事なイワナ剥製を披露

朝日自然塾5（かんじきトレッキング）

平成28年3月12日（土）、今年度最後となる朝日自然塾「期間限定！残雪を楽しむかんじきトレッキング」を実施しました。

今回のイベントは、降雪前の昨年12月から現地見及び地元西川町大井沢集落の



慎重に足を進めます

住民の方々と入念に打合せを行うとともに、既存のプログラム内容を大幅に見直し臨みました。その甲斐があったのでしょうか、参加者が26名（うち外国からのお客様6名）という大変好評な募集結果となりました。

イベント当日は、参加者を急遽3班体制に編成、スタッフの目が行き届くよう配慮しつつ、最初のプログラムのかんじきトレッキングを開始しました。

参加者のほとんどの方が、かんじきを履くのは初めてであったことから、装着に苦

労していましたが、歩き出すと慣れたのか走り出す子供達もおり、冬芽や動物の足跡を観察しながら和気あいあいの雰囲気を楽しんでいただきました。



メイプルシロップ原液採取

その後、スキー場跡地でのソリ滑りや、今回初めてプログラムに組んだメイプルシロップづくり（イタヤカエデの樹液採取）を行い、昼食の「引きずりうどん」をおいしく味わっていただいた後、実物のクマの手に触ってもらったり、地元猟友会の前田さんからのマタギの体験談を聞いていただきました。体験談については興味津々なようすで、活発に質問されていました。

また、飛び入りの芸披露として、地元大井沢地区の佐藤さんが草笛の音色を聴かせていただいたり、当日撮影したお気に入りの写真で缶バッジを作成して記念品としてプレゼントさせていただきました。イベントは怪我もなく無事終了、皆さん満面の笑顔で帰られて行きました。今回のイベント成功にあたって、地元大井沢地区の皆さま、「自然と匠の伝承館」原館長はじめ職員の皆さまに感謝いたします。



かんじきは初めての体験（外国人）



ソリ滑りに大はしゃぎ



とても賑やかなイベントとなりました

奨励賞を受賞（森林・林業技術交流発表会）

平成28年2月3日（木）～4日（金）の2日間にわたり秋田市で開催された「森林・林業技術交流発表会」において、当センター小嶋技官と小倉専門官が、「朝日山地森林生態系保護地域における人工林から天然生林への誘導に向けた取組について」をテーマに発表し、森林保全部門で奨励賞をいただきました。今後の業務実行の励みとなりました。

これまでの、ご意見・ご指導・ご協力いただきました皆さまに感謝いたします。



発表風景

編集後記

平成27年度も残すところ僅かとなりました。今年度こそ3年度ぶりに無災害で暮らすことができそうです。振り返ってみますと、一年があっという間で過ぎていきました。集中豪雨や台風などの災害も無く、朝日の山々は穏やかなフィールドを私たちに提供してくれたように思います。新規採用者

には、なかなか厳しい山行ではなかったかとは思いますが、必死について来てくれた事に、職員皆が励まされました。来年度は厳しい体制になることが想定されますが、山行と同様、一步いっぽ歩みたいと思います。（おぐ）



センター職員一同